

(表面)

第 号  
年 月 日

様

(退職手当管理機関)



退職手当支払差止処分書

野田市職員の退職手当に関する条例第13条第1項の規定により、一般の退職手当等の額の支払を差し止めます。

|             |       |        |
|-------------|-------|--------|
| (退職をした者の氏名) |       |        |
| (採用年月日)     | 年 月 日 | (勤続期間) |
| (退職年月日)     | 年 月 日 |        |
|             |       | 年 月    |

教示

- 1 この処分について不服がある場合には、この処分があったことを知った日の翌日から起算して3か月以内に、市長に対して審査請求をすることができます。
- 2 この処分については、上記1の審査請求のほか、この処分があったことを知った日の翌日から起算して6か月以内に、市を被告として(訴訟において市を代表する者は となります。)、処分の取消しの訴えを提起することができます。なお、上記1の審査請求をした場合には、処分の取消しの訴えは、その審査請求に対する裁決があったことを知った日の翌日から起算して6か月以内に提起することができます。
- 3 ただし、上記の期間が経過する前に、この処分(審査請求をした場合には、その審査請求に対する裁決)があった日の翌日から起算して1年を経過した場合は、審査請求をすることや処分の取消しの訴えを提起することができなくなります。なお、正当な理由があるときは、上記の期間やこの処分(審査請求をした場合には、その審査請求に対する裁決)があった日の翌日から起算して1年を経過した後であっても審査請求をすることや処分の取消しの訴えを提起することが認められる場合があります。

(裏面)

|  |                                  |
|--|----------------------------------|
| (退職時の勤務所属)   |                                  |
| (退職時の職名)   | (退職時の給料月額)<br><br>円<br>( 職 級 号給) |
| (支払差止処分理由)   |                                  |
| (支払差止処分の取消し)<br>この処分は、次のいずれかに該当する場合には取り消され、差し止められている一般の退職手当等の額が支払われる。<br>1 この処分を受けた者について、この処分の理由となった起訴に係る刑事事件につき無罪の判決が確定した場合<br>2 この処分を受けた者について、この処分の理由となった起訴に係る刑事事件につき、判決が確定した場合(禁錮以上の刑に処せられた場合及び無罪の判決が確定した場合を除く。)<br>3 処分者が、この処分後に判明した事実又は生じた事情に基づき、この一般の退職手当等の額の支払を差し止める必要がなくなると認める場合 |                                  |

備考 勤続期間とは、野田市職員の退職手当に関する条例第3条第1項に規定する勤続期間をいう。